

④ 第4委員会

「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」



それでは、第4委員会の意見を発表します。

第4委員会のテーマは、「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」です。このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは、7月22日に東山動植物園の^{しせつ}施設見学を行いました。

そこで、まず、^{わたし}私たちは、^{えさ}象に餌をあげました。そのとき気づいたことは、象は鼻を器用に使って餌を食べたことです。東山の^{しいく}飼育員さんは、^{わたし}私たちにこういう体験をさせてくれて、もっと自然に^ふ触れ合うようにしてくれたのだと感じました。

次に、ゾーリアムで象の^{もけい}模型の^{てんじ}展示を見ました。その展示は、いろいろな人と象との交流を深めるためのものだと思います。また、象は^む群れで生活するため、東山動物園でも象を^む群れで^{しいく}飼育していることがわかりました。

次に、東山の象は、長い間、^{しいく}飼育員さんの努力により戦争から守られ、食事や出産にも気を配り、東山に象が^い居続けることができて

いると聞きました。それは、環境^{かんきょう}を守ることでもあり、それを続けている東山の飼育員^{しいく}さんはすごいと思いました。

最後に、東山のすばらしい歴史について学びました。アジアゾウは、戦前の1920年からずっと飼育^{しいく}されています。また、昭和12年に建てられた温室も平和の大切さを伝えています。どちらも飼育員^{しいく}や職員^{しよく}の皆さん^{みな}の熱意と努力^{ささ}が支えてきました。今も、温室^{しいく}の復元^{ふくげん}や動物が住みやすく、楽しく暮らせる動物園づくりに取り組んでいます。東山に来ると平和の大切さがわかります。戦争のない、人間と動物が仲よく共存^{きょうぞん}できるまちにしていきたいと思いました。

その後、私^{わたし}たちは、施設見学^{しせつ}をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするためには、何をすればいいか考えました。

それでは、私^{わたし}たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

僕^{ぼく}は、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするには、まず道路や森などにポイ捨て^すをしないことです。

もしごみが出てしまったら、家に持ち帰り、分別して捨てれば再利用^{さい}できるし、物を燃^もやさないのでCO₂が出なくなります。生き物にとって、ある程度^{ていど}に観察して、森に帰すなどにすれば、その生き物が新しい命を産み、またさらに新しい命が生まれる。なので、皆さん^{みな}も生き物をとったら、川や森などにきちんと帰してください。発表を終わります。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、東山動植物園を中心に、名古屋を緑あふれるまちにしてい
くと思います。

名古屋には、街路樹^{じゅ}などがたくさんありますが、緑は大切なので、
もっと木や花や草をふやすと思います。

そのために植物を育てる会や緑をふやす会などを開き、名古屋を
日本一緑が多いまちにしたいです。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、今回見学に行った東山には何度も行ったことがあります。
ナイトズーにも行ったことがあります。

いつも動物を近くで見るとき、目線に手すり^{いす}があって全部が見え
にくいのが残念です。車椅子の人たちも今まで以上に楽しめる動物
園になるといいなと思います。

植物園には余り^{あま}行ったことがなくて、温室が重要文化財^{ざい}だと初め
て知りました。平成32年に温室が完成したら行ってみたいです。植
物園も子どもたちにもっと知ってもらうためにクイズラリーなどい
ろいろな楽しいイベントをしたらいいと思います。これで発表を終
わります。

○子ども議員

東山動物園は象がずっといることがびっくりしました。戦争が起きている象を守り続けて、出産も東山の人だけで出産していて、すごいと思いました。

○子ども議員

^{ぜつめつ}絶滅した生き物や^{ぜつめつ}絶滅しそうな生き物の^{げんいん}原因を調べて、それにかからないようにして、今もいる生き物をどんどんふやしていけたらいいなと思います。

自然に親しみ、森や林にごみを捨てないようにしたりして自然を守ったら、自然と仲よくなったら緑がいっぱいになると空気もきれいになると思います。

○子ども議員

^{わたし}私が、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするには、もう数が少なくなった名古屋の自然を残したほうがいいと思いました。名古屋市の^{みな}皆さんに、まだ名古屋には^{めずら}珍しい生き物が生息していると知ってもらう機会をもっとつくったほうがいいと思います。

そして、^{わたし}私たちがその数少なくなった生き物がもういなくならないように、生き物たちのすみかを守り、人間と生き物が^{いっしょ}一緒に仲よく住めるまちにしたほうがいいと思います。だから、人間が木を^す切り過ぎないなど、あと、なるべく自動車を使わないなどの努力も必要だと思いました。

○子ども議員

^{ぼく}僕たちは、まず象のことについて聞きました。東山動物園では、象を79年^か飼っているということに^{おどろ}驚きました。79年の間には戦争がありました。そのときに東山の人^かが、象を飼いたいという強い気持ちがあり努力をしたからこそ、今東山に象がいるんだと思います。

もう一つ、^{さいせい}再生プランのことについて聞きました。今ショベルカーでチンパンジーやゴリラの新しい住む場所をつくっているそうです。^{ぼく}僕は東山の人^かは、動物たちが楽しく住みやすく^く暮らせるように努力していてすごいと思いました。これで終わります。

○子ども議員

私は、子どもも大人も誰もが動物や植物の本来の姿を感じたり、学べる施設をふやすべきだと思います。

今の地球は、私たちが人間のことばかり大切にした活動によって環境が破壊され、生態系は乱れ、絶滅の危機に陥る生き物がどんどんふえています。だから、私たちは生き物の生態や適した環境を理解することが大切です。東山動植物園が動物や植物を珍しいペットや飾り物ではなく、一つの地球の上で生きる、かけがえのない仲間の姿を見られる場所にしたいと思います。

○子ども議員

今はだんだん野生の象が減少してきているそうです。だから、いろんな動物園で象を出産させ、生息地に戻してあげられると象がふえていくので、僕はいいと思います。そして、今は象の出産を手伝える動物園も少なく、外国の人を呼んでいる動物園も多いそうなので、たくさんの動物園で、出産を手伝える人がふえてほしいです。また、象以外にも絶滅危機になっている動物にも出産を手伝える人がいたらいいと思います。

○子ども議員

私は、見学でいろいろな象や模型などを展示してあったことが印象に残りました。

思ったことは、飼育員さんたちの、いろいろな人に象の生態や構造などをもっと知ってほしいという思いが積み重なってつくられたのではないかと私は思いました。

このように、名古屋の自然もいろいろなことが積み重なっていけば、もっといい自然になるのではないかと思います。

○子ども議員

私は、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするには、自然や動物に触れ合うことが大切だと思います。

私は、東山動植物園に見学に行きました。そこでは、絶滅危惧種を守ったり動物のことを知ってもらう取り組みをしていました。それによって、多くのお客さんにいろいろな動物を見てもらって楽しませることができます。私たちはもっと動物や自然に触れ合ったら関心が高まり、大切にしようと思う気持ちになると思います。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、東山動植物園を見学してきて、「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」に名古屋市をするためには、最初に、人間と動物が互いに協力すればいいと思います。なぜそうすればいいかと思ったかという、東山動物園では、ふだん人間が見学させてもらっている象などの動物も、人間のおかげで出産できたので、そう思いました。多分ここの動物園ならば、パンダの出産も成功すると思います。

次に、緑のカーテンをもっとつくればいいと思います。理由は、東山植物園で虫たちが木の下で涼し^{すず}そうにしていたからです。なので、至^{いた}るところに緑のカーテンをつければいいと思います。それで、オアシスをふやせばいいと思います。これが^{ぼく}僕の意見です。

○子ども議員

^{みな}皆さんこんにちは。^{みな}皆さんは象を見たことがありますか。^{ぼく}僕は象を調べてきました。

象は^む群れで^{いどう}移動することが多いです。なので、東山動物園でも^む群れで飼育^{しいく}したいと考えていました。でかい象が^む群れで歩くところを見てみたいです。ぶつかったりしないか不安もあります。

あと、東山植物園にも行ってきました。新しい施設^{しせつ}があと4年でできるらしいです。重要文化財^{ざい}の温室^{しせつ}の施設ができるので楽しみにしています。これで終わります。

私たち第4委員会は、このようなことが、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするために必要だと考えました。

これで、第4委員会の発表を終わります。

■ ^{やまぐち}山口^{とうべん}土木交通委員長の答弁

^{みな}皆さんからすてきな感想とたくさんの^{ていあん}提案をいただきました。第4委員会のテーマは、「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」です。東山動植物園を見学し、子ども委員長、子ども副委員長を中心に話し合っ、このテーマについて深く考える3日間になりましたね。

ゾーリアムではアジアゾウの^{えさ}餌やりも体験し、そして戦争から象の命を守り、子どもたちに^{ゆめ}夢と^{あた}希望を与えた「ぞう列車」の話も聞きました。東山を支えている飼育員や^{ささ}職員^{しよく}の熱意と努力が、^{みな}皆さんにもしっかり伝わったと発表を聞いてよくわかりました。動物、植物だけでなく、働いている人たちのこともしっかり見てくれたこと、^{わたし}私はとてもうれしく思いました。

^{みな}皆さんの意見や提案には、「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」についての大事な^{いく}ヒントが^{わたし}幾つもあったと思います。発表を聞いて、^{わたし}私は^{みな}三つのことを皆さんに約束したいと思います。

一つは、名古屋を緑あふれるまちにすることです。名古屋にもまだ^{めずら}珍しい生き物が生息している。そんな生き物がいなくなないように、木を切り過ぎない、木や花を植える、ごみのポイ捨てはやめる、そして名古屋の森や林、街路樹なども大切にして、人間と生き物がともに暮らせる、そういう名古屋、これは一緒に^{いっしょ}につくりたいと思います。

二つ目は、もっとすてきな東山動植物園をつくることです。^{ぜつめつ}絶滅^{きぐ}危惧種^{ほぞん}を守り、種の保存にもしっかり取り組む東山、大人から子ども



もまで楽しく学べる、そんな動植物園、象やゴリラ、チンパンジーなどが群れで暮らせる。自然に近い状態で生き生きと暮らせる、そんな東山動植物園をつくりたいと思います。そして、子ども議員からは、動物に近寄ると車椅子だと目線の高さに手すりがあって、動物が全部見えない、全部の姿がなかなか見えない、それが残念だと大変大事な指摘をいただきました。とても貴重な意見だと思います。この意見、これからの施設づくりにもしっかりと生かしていくことも約束したいと思います。

三つ目、東山動植物園の貴重な歴史を、もっとみんなに伝えていきます。これは説明は要りませんよね。そして、子ども議長から、東山にパンダを、こういう提案があったと思います。どうしたら実現できるかな、私も一生懸命考えていますが、まずパンダや象など貴重な動物が暮らす、それぞれの国としっかり仲よしになること、そして東山だったら安心して貴重な動物を預けることができる、こう言われるような立派な施設を整えていくことがまず必要だと思います。東山では2年後に新しいアフリカの森が完成します。4年後には重要文化財の温室も復元され、公開されます。パンダが見たいと、この夢を温め続けて、また東山で皆さんと同窓会ができるといいなと思います。

最後になりますが、3日間一緒に勉強させていただきました松本副委員長、小林副委員長、そして教育委員会の鈴木先生、そして東山の職員の皆さんとともに、皆さんに感謝を申し上げて、答弁とさせていただきます。ありがとうございました。

